

松茂町の自立支援、介護予防、重度化防止等に関する取組と目標の自己評価

項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	2020 実績	年度	2021	2022	2023	2021・2022年度 取組内容	今後の 課題・対応策など
体操教室を行い、 介護予防活動の普及・啓発を推進する。	ニーズ調査の結果から、「体操・運動」に関心が高い高齢者が多い傾向があるため、既存の体操教室を充実することにより、介護予防につなげていく。		目標	チャレンジ太極拳 48回 元気体操教室 36回 脳わくわく若 返りトレーニ ング講座 24回 フレイルサ ポータースキ ルアップ講座 1回	チャレンジ太極拳 48回 元気体操教室 36回 脳わくわく若 返りトレーニ ング講座 24回 フレイルサ ポータースキ ルアップ講座 1回	チャレンジ太極拳 48回 元気体操教室 36回 脳わくわく若 返りトレーニ ング講座 24回 フレイルサ ポータースキ ルアップ講座 1回	体操教室の回数は回復しているが、コロナ禍もあり参加人数は増やせていない。フレイルサポーターのスキルアップ講座として2022.7.27に県派遣事業を利用した低栄養フレイル教室を実施し、人材育成を図った。また、2022.10.3には町社協のフレイル測定会を手伝うなど、活動の場を工夫した。	認知症予防の教室はニーズがあるため、講座の拡充が検討課題。2023年度は町の健活イベントを通じて口腔体操の周知を予定している。体操教室の参加者は固定化しているため、新規参加者の掘り起こしが必要。
			実績	チャレンジ太極拳 47回 元気体操教室 46回 脳わくわく若 返りトレーニ ング講座 21回 フレイルサ ポータースキ ルアップ講座 1回	チャレンジ太極拳 47回 元気体操教室 44回 脳わくわく若 返りトレーニ ング講座 24回 フレイルサ ポータースキ ルアップ講座 1回			
いきいき百歳体操 等を開催すること で、住民主体の通 いの場を創り出 す。	ニーズ調査の結果から7期計画時に引き続き「閉じこもりリスク」を抱えている方が約2割存在しており、徒歩でも通える場を創ることで閉じこもり予防や生きがいがづくりを推進する。		目標	3ヶ所	5ヶ所	8ヶ所	休止中だった通いの場が2022.10.7から再開し、12.5には計測のためPTを派遣した。また、もう一カ所の通いの場では、フレイルサポーターが計測会を実施し、PTも派遣した。	休止中の通いの場が再開するなどコロナ禍の影響が解消してきたため、今後も通いの場を増やすよう働きかける。町の健活イベントでインボディなど健康状態の測定を実施し、通いの場での測定支援についても周知を行う。
			実績	3ヶ所 (うち1ヶ所は休止状態)	3カ所 (うち2カ所は休止状態)	3カ所 (うち1カ所は休止状態)		

項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	2020 実績	年度	2021	2022	2023	2021・2022年度 取組内容	今後の 課題・対応策など
自立支援ケア会議を開催し、高齢者が地域で自立した生活が送れるようにする。	認定者の内訳を分析すると要支援2、要介護2が増加傾向にあり、身体的な重度化予防に効果があると見込まれるため、高齢者のQOLの向上を目指し専門職の助言を得てケアプランの改善を図る。		目標	2回	3回	4回	自立支援ケア会議の実施を年3回計画。2022年度は提出資料中、口腔機能の項目を追加し内容の充実を図った。6/17、9/2、1/13に実施。会議でのニーズを受けて家族介護支援を目的とした認知症カフェ検討などにも繋がった。サービス事業者から事業への理解と協力が見られるようになった。	会議を通じてインフォーマルサービスの不足や、地域医療や保健師との連携の重要性、近所に交流の場が必要など地域課題が浮かび上がった。今後も事業の定着化を目指す。
			実績	2回	3回			